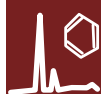


募金で生まれた 食と農の防人



残留農薬検査



放射性物質検査



微生物検査



遺伝子組換え検査



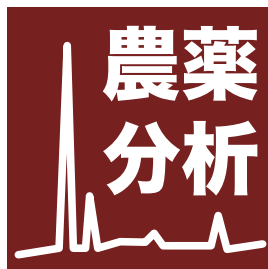
重金属類検査



食品問題調査・研究



食品検査キット



残留農薬一斉検査(230種)

一般価格 15,000円
全商連会員 22,500円

ガスクロマトグラフ質量分析計を用い、複数の農薬残留について一斉分析が可能です。厚労省告示をもとに新開発した分析法です。

低価格、迅速分析のため、検査件数を増やせるメリットがあります。定期検査、生産組合員の技術管理などに生かすことで品質管理の底上げにつながられます。



ゲルマニウム
半導体検出による試験
一般価格 15,000円～
全商連会員 11,250円～

3inch NaIシンチレーション3機、ゲルマニウム半導体検出器1機を備え、検査をお受けしています。食品から土壌、尿、母乳などさまざまな検査に対応します。Ge機で1~2Bq/kg程度、NaI機で3~5Bq/kgです。より低レベルの試験を希望にも対応します。低レベル検査での依頼でも分析価格は変わりません。

放射能分析は営利でのご利用の場合、有償ですが、非営利、社会貢献性のある調査研究などの場合はお気軽に相談ください。



簡易試験
一般価格 5,000円
全商連会員 3,500円

PCR法による精密試験
一般価格 20,000円
全商連会員 15,000円

食品原材料が組み換え品種を含むかどうかのチェックは、消費者に正しい情報を伝える上で重要なことといえます。

イムノクロマト法またはPCR法による、とうもろこし、大豆、ナタネなどの遺伝子組換え作物定性試験が可能です。



米のカドミウム分析
一般 10,000円
全商連会員 7,500円

その他重金属類含有量分析
5,000円～
(詳細はお問い合わせ)

食品には、生息場所や栽培地域、環境、製造工程などにより、自然界での存在量以上の重金属が含まれる場合があります。重金属の過剰摂取は、人体への危害を引き起こします。



その他の検査については、直接お問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。



農民連食品分析センターは、1996年、農民と消費者の募金により設立された世界的にも珍しい分析施設です。

1996年のWTO協定加盟をうけ、不安といわれる輸入食品について、科学的なデータを集めたい、国産農産物の品質を確かめたい、そしてよりよい食生活を願う消費者に情報を届けたい、そうしたい思いのもと、募金をつのり、設立にいたりました。

1996年5月20日設立以来、学校給食パンのポストハーベスト農薬問題、漢方薬の残留農薬問題、割り箸への漂白剤使用問題などを明らかにしてきました。2000年、中国産冷凍ほうれん草の残留農薬問題発見は食品衛生法改定のきっかけにもつながりました。

私達は、設立の目的を生かし、「食」と「農」の防人として、全ての方のお役に立てるよう業務に取り組んでいます。

検査依頼のしかた

- ↓ まず電話(03-5926-5131)
- ↓ 受け入れ日を打ち合わせ
- ↓ 依頼書FAX(03-3959-5660)
- ↓ 荷物を発送
- ↓ 検査品到着、分析開始
- ↓ 分析終了、報告書発送
- ↓ 報告書到着、内容チェック
- ↓ 代金振込



一般社団法人

農民連食品分析センター

〒173-0025

東京都板橋区熊野町47-11

TEL/FAX 03-5926-5131

E-mail power8@nouminren.ne.jp

<http://earlybirds.ddo.jp/bunseki/index.html>



**農民、消費者とあゆむ
募金で生まれた分析施設**

**農民連
食品分析
センター**



全商連会員用パンフレット